

平成24年2月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成24年2月27日）

（代表・一般）

部（局・庁）・課（室）名 農林水産部 耕地課

質問者 共産党 丸山 慎一 議員

質問要旨	答 弁 要 旨	答 弁 者
<p>2. 震災復興と放射能汚染対策について</p> <p>(1) 液状化対策について</p> <p>エ 香取市の田の復旧について、「このままでは2年続けて田植えができない。」この苦しい農民の思いを、県はどう受け止めているのか。</p> <p>オ どう対策を講じるつもりなのか。</p>	<p>1. 液状化の影響を受けた水田については、昨年11月までに国の災害査定を終了し、現在、早期復旧に向けて、本格的な工事を実施しており、3月末に完成する予定です。</p> <p>2. また、用水の確保については、土地改良区が行う応急ポンプの設置を支援し、今年の田植えが実施できるよう取り組んでまいります。</p>	<p>副知事 石渡 哲彦</p>

平成24年2月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成24年2月27日）

（代表）・一般

部（局・庁）・課（室）名 農林水産部 耕地課

質問者 共産党 丸山 慎一 議員

質問要旨	答弁要旨	答弁者
<p>2. 震災復興と放射能汚染対策について</p> <p>(1) 液状化対策について</p> <p>カ 復旧工事のために土がダメになって収穫量が減る。千葉県は米作りを支えるために、こうした農家へ、県としても抜本的な所得補償に踏み出すべきだがどうか。</p>	<p>液状化の影響を受けた水田の復旧に当たっては、今年の水作りに支障が出ないように、水田の水漏れ防止対策を講ずるとともに、地力回復に向けた「土づくり」に対する支援を行ってまいります。</p>	<p>副知事 石渡 哲彦</p>